

第 1 編 調査の概要

第1編 調査の概要

(1) 調査の目的

現在、甲州市では定時定路線バス・デマンドバスなどが運行し、利用者の利便性を高めるため公共交通事業を実施しています。

しかし近年では、少子高齢化や過疎化が進行する中、日常生活に必要な買い物や通院などの移動が難しい高齢者が増加傾向にあると言われており、高齢者の外出・移動手段の確保が大きな課題になっています。

本アンケート調査は、市内高齢者の「移動手段」及び「路線バス、デマンドバス等の認知度、利用実態並びに利用ニーズ」を把握し、これからの公共交通のあり方や、持続可能な移動手段を検討し、「高齢者に利用される公共交通システム」の再構築に向けた基礎資料の収集を目的に実施しました。

なお、アンケート調査の設問は、大藤地区民生委員児童委員連絡協議会で実施した「交通事情アンケート」を参考に作成しています。

(2) 調査の方法

市内全地区において令和7年1月から3月に実施しました。

調査票の配布・回収等は、甲州市民生委員児童委員連絡協議会に依頼し、民生委員各位にご協力をいただきました。

調査対象	調査方法	調査数	回収票数
65歳以上の高齢者	民生委員による 配布・回収	民生委員ひとり当たり 10名程度 ※全体で概ね1,110人に配布し、816件(73.5%)を回収した。	816件 塩山地域 497 勝沼地域 249 大和地域 70

(3) 留意点

- ・設問には1つのみ答える単数回答と、「あてはまるものすべて」の回答を求める複数回答があり、複数回答の設問では、標記の割合の合計が100%を超えます。
- ・回答結果の割合(%)は、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。